

平成29年度 公共事業再評価調書

1. 再評価調書

(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [国道橋りょう改築事業 (国補)]		事業箇所	甲府市西下条町～落合町	地区名	国道140号 (新山梨環状道路・東部区間)	事業主体	山梨県
	当初計画 ※1	現計画 (事業採択時) ※2	今回見直し予定		⑤再評価時の評価状況 (平成24年度事前評価)			
計画期間	H25～H32	—	—		この事業は、甲府都市圏を取り囲む「新山梨環状道路」の東部区間の整備に着手するものであり、西下条ランプから東油川ランプに至る区間を優先して整備するものである。新山梨環状道路は、甲府都市圏における交通の円滑化と、周辺地域との連携強化を目的とした地域高規格道路であり、中部横断自動車道を利用する西部区間と南部区間が既に供用しているが、南部区間の東端部である西下条ランプに交通が集中して、激しい渋滞が発生しており、社会・経済活動に大きな支障をきたしている。 本事業の整備により、環状ネットワーク効果の早期発現とともに西下条ランプの交通渋滞の緩和を図ることができることから、事業の必要性は高いと評価でき、実施が妥当である。 なお、新山梨環状道路の整備効果の発現を高めるためには、本事業区間も含め残る未整備区間の整備が必要であることから、時間管理を徹底し、計画的な執行に努められたい。			
計画区間	L=3,400m	L=1,600m	—					
総事業費	23,200百万円	9,700百万円	12,600百万円					
※1 平成24年度に事前評価に諮った計画 ※2 国土交通省補助事業採択された計画								
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
新山梨環状道路は、甲府市の中心部に集中する周辺からの交通を適切かつ有機的に分散導入を図る機能を有し、甲府市内の慢性的な交通渋滞を解消する甲府都市圏を取り囲む環状道路である。このうち東部区間は、供用済みである南部区間の(仮)西下条ICから国道20号に至る区間である。供用済みである南部区間のうち、特に端部である(仮)西下条ICには交通が集中し、激しい渋滞が発生しており、社会・経済活動に大きな支障となっているため、当区間の整備を早急に進め、渋滞の緩和を図る必要がある。								
②事業概要								
計画延長 L=1,600m 道路幅員 車道9.5m [暫定形(2/4車線)]								
③現計画の全体計画 (今回の再評価で変更する前の内容)								
	平成28年度まで	平成29年度 (評価実施年度)	平成30年度以降					
工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	用地取得 道路改良工事 橋梁工事	道路改良工事 橋梁工事					
事業費	3,000百万円	1,500百万円	5,200百万円					
④特記事項								
<ul style="list-style-type: none"> 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期 L=5.5km (仮)落合西IC～(仮)広瀬IC 平成26年度事業化(県) 新山梨環状道路北部区間 L=2km (仮)広瀬IC～(仮)桜井IC 平成28年度事業化(国土交通省) 								
(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化]								
(今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)								
①地域・住民の意向状況 ②産業・経済情勢								
沿線の地元自治体や各種団体が構成する新山梨環状道路整備促進期成同盟会より早期完成を要望されている。								
③国等の方針変更								
平成25年度に事業採択された区間は、事前評価区間の内、(仮)西下条IC～(仮)落合西ICの1.6km。								
④上位計画・関連事業計画等の変更								
「ダイナミックやまなし総合計画」(平成27年12月策定) 「山梨県強靱化計画」(平成27年12月策定) 「山梨県社会資本整備重点計画-第三次-」(平成27年12月)								
⑤自然環境条件等の変化								
なし								
⑥その他								
なし								
(3) 評価項目 [再評価時点の費用対効果分析]								
<ul style="list-style-type: none"> 事業採択時計画における事業全体B/C(24年度)(当初計画区間 L=3,400m) 便益(B)/費用(C)=1.3>1.0 再評価時計画における事業全体B/C(29年度)(現計画区間 L=1,600m) 便益(B)/費用(C)=2.5>1.0 [山梨県費用便益分析マニュアルより算出 採択基準値1.0以上] [算出に当たっては、最新の条件により算出]								

2. 再評価調書

<p>(4) 評価項目 [事業の進捗状況及び見込み]</p> <p>①これまでの計画変更等の概要 国土交通省との協議の結果、平成25年度に事業採択された区間は、事前評価区間L=3.4kmのうち1.6kmであり、残る区間は広瀬Cまでの区間を含め平成26年度に事業採択された。</p> <p>②施行済みの事業内容（（1）③「全体計画」に記載した内容と比較）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 35%;">平成28年度まで</th> <th style="width: 50%;">平成29年度 (再評価実施年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">工事内容</td> <td>測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事</td> <td>用地取得 道路改良工事 橋梁工事</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">事業費</td> <td style="text-align: center;">3,182百万円</td> <td style="text-align: center;">1,185百万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>③進捗率（現計画に対する実績）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 15%;">*平成25年度</th> <th style="width: 15%;">平成26年度</th> <th style="width: 15%;">平成27年度</th> <th style="width: 15%;">平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> <td style="text-align: center;">10.3</td> <td style="text-align: center;">20.6</td> <td style="text-align: center;">30.9</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td style="text-align: center;">5.2</td> <td style="text-align: center;">8.9</td> <td style="text-align: center;">22.5</td> <td style="text-align: center;">32.8</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;"></th> <th style="width: 15%;">平成29年度</th> <th style="width: 70%;">算出方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">計 画</td> <td style="text-align: center;">41.2</td> <td>計画事業費/総事業費×100</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">実 績</td> <td style="text-align: center;">45.0</td> <td>実施事業費/総事業費×100</td> </tr> </tbody> </table> <p>*事業着手年度又は再評価、再々評価実施年度 平成29年度の実績は見込み</p> <p>④事業の進捗が順調でない理由 概ね計画通りに進捗しているが、一部で用地取得が難航している。</p>		平成28年度まで	平成29年度 (再評価実施年度)	工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	用地取得 道路改良工事 橋梁工事	事業費	3,182百万円	1,185百万円		*平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	計 画	5.2	10.3	20.6	30.9	実 績	5.2	8.9	22.5	32.8		平成29年度	算出方法	計 画	41.2	計画事業費/総事業費×100	実 績	45.0	実施事業費/総事業費×100	<p>⑤今後の事業執行上の問題点 未買収地における用地交渉に時間を要することが考えられる。</p> <p>⑥今後の事業の進捗の見込み（計画期間について記載） （仮）西下条C～（仮）落合西C間の1.6kmでは、一部の用地取得が難航しているが、用地取得は約82%まで進捗していることから、平成32年度の完成を目指す。</p> <p>⑦事業計画の変更の見込み・可能性（総事業費について記載）</p> <p>・総事業費の見直し</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">内 容</th> <th style="width: 30%;">事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>橋梁形式や規模の変更</td> <td style="text-align: center;">1,100百万円の増</td> </tr> <tr> <td>函渠工施工の仮設や補助工法の変更</td> <td style="text-align: center;">1,200百万円の増</td> </tr> <tr> <td>地質調査結果に基づく変更等</td> <td style="text-align: center;">600百万円の増</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">合 計</td> <td style="text-align: center;">2,900百万円の増</td> </tr> </tbody> </table> <p>・現場条件により市道及び施工位置の見直しが必要になったことや、地質調査の結果、想定以上の軟弱地盤であることが判明し、本体や仮設等の見直しが必要になったことによる。</p> <p>(5) 評価項目 [環境への配慮] 過年度に実施した環境影響評価により、著しく環境に影響を及ぼすことがない計画となっている。</p> <p>(6) 評価項目 [コスト縮減の可能性] 他の公共事業で発生した残土を盛土材に使用するなど、コスト縮減に努める。</p> <p>(7) 評価項目 [代替案立案の可能性] なし</p> <p>(8) 所管部の今後の方針 継続・見直し継続・その他（ ） (理由) 事業区間が公共事業評価区間と相違しているため、再評価において区間延長の整合を図ることとした。1.6km区間では、用地取得の進捗率が約82%に達していることから、平成32年度の完成を目指す。</p>	内 容	事業費	橋梁形式や規模の変更	1,100百万円の増	函渠工施工の仮設や補助工法の変更	1,200百万円の増	地質調査結果に基づく変更等	600百万円の増	合 計	2,900百万円の増
	平成28年度まで	平成29年度 (再評価実施年度)																																										
工事内容	測量調査設計 用地取得 道路改良工事 橋梁工事	用地取得 道路改良工事 橋梁工事																																										
事業費	3,182百万円	1,185百万円																																										
	*平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度																																								
計 画	5.2	10.3	20.6	30.9																																								
実 績	5.2	8.9	22.5	32.8																																								
	平成29年度	算出方法																																										
計 画	41.2	計画事業費/総事業費×100																																										
実 績	45.0	実施事業費/総事業費×100																																										
内 容	事業費																																											
橋梁形式や規模の変更	1,100百万円の増																																											
函渠工施工の仮設や補助工法の変更	1,200百万円の増																																											
地質調査結果に基づく変更等	600百万円の増																																											
合 計	2,900百万円の増																																											



